

札幌学院大学 コミュニティ カレッジ COMMUNITY COLLEGE



2018年度 前期講座のご案内

一般講座

1. 大学は面白い！
鶴丸 俊明 皆川 雅章 石川 千温
2. ハラスメントの心理学
品川 博二
3. 現代の中国—その政治、経済、社会と歴史
倉田 稔
4. 『ノーベル賞の光と影』
安岡 譽 若原 正己
5. ドビュッシーが描いた夢と憧れの世界
中村 隆夫
6. 再生エネルギー国際大競争と日本の原発輸出戦略
佐々木 洋
7. 『世界経済の展望とマネープランへの影響』
白根 壽晴
8. 特別支援教育実践構築の一視角
二通 諭 大橋 伸和 二本松 一将

市民セミナー

9. デジタル一眼レフ写真講座
浅野 久男
10. 大学バスで行く自然観察会
猿子 正彦 池田 憲治
11. フットパスを歩こう！
小川 巖 小川 浩一郎
12. ファイナンシャル・プランナー(3級FP技能士)資格対策講座
白根 壽晴 中谷 俊雄

英会話講座

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| E1.入門英会話(START ENGLISH!) | Tim Grose |
| E2.基礎英会話(海外旅行)(TRAVEL ENGLISH) | Brendon Muir |
| E3.基礎英会話(日常生活)(ENJOY ENGLISH!) | Koch Junior, J. C. |
| E4.中級英会話(日常生活)(ENJOY ENGLISH!) | Robert Olson |
| E5.中上級英会話(グローバルトピック)(GLOBAL ENGLISH) | David Flenner |

——— 受講のお申し込み方法については
17～18ページをご覧ください ———

主催 ◆ 札幌学院大学社会連携センター
後援 ◆ 北海道教育委員会・札幌市教育委員会
提携 ◆ 道民カレッジ・えべつ市民カレッジ

COMMUNITY COLLEGE

ごあいさつ

市民の皆様

札幌学院大学の前身である札幌文科専門学院は、終戦の翌年、戦場から帰還した若者たちによって札幌市中島公園内の農業館を借用して創設されました。設立認可申請書には「北海道の自然と文化とが祖国再建の途上に占むべき重要性に鑑み北方文化の新指導者たるの任に当たり得べき人格と知能の育成を期すべくここに設立したるものなり」とあり、北海道に貢献する人材の育成を目的に掲げていました。その後、札幌文科専門学院は札幌短期大学、札幌商科大学となり現在の札幌学院大学へと成長いたしました。地域に貢献する人材の育成は学園の創設当初から一貫した大学の理念とすることができます。

一昨年、本学は学園創立70周年を迎えました。生涯学習のための講座である「コミュニティ・カレッジ」も開設してから19年目を迎えます。今年度はこの事業を江別市の札幌学院大学において開講、実施いたします。私どもは、グローバル化が一層進む中において大学の理念である地域貢献を時代に応じた形で具体化し、親しみやすくかつわかりやすい講座を続けたいと考えております。

2018年の前期講座においても多彩な講座をご用意致しました。この学びの場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

※社会連携センターは、2018年4月からは札幌学院大学に移転します。

交通アクセス

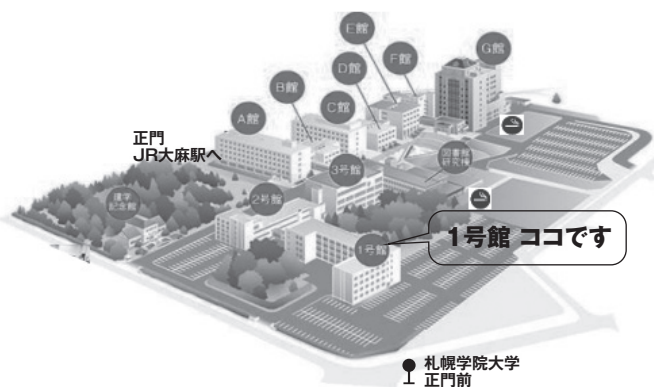
■JR利用の場合

○札幌駅(江別、岩見沢方面)発⇒大塚駅下車
所要時間:快速12分+徒歩10分

■バス利用の場合(新札幌バスターミナルから)

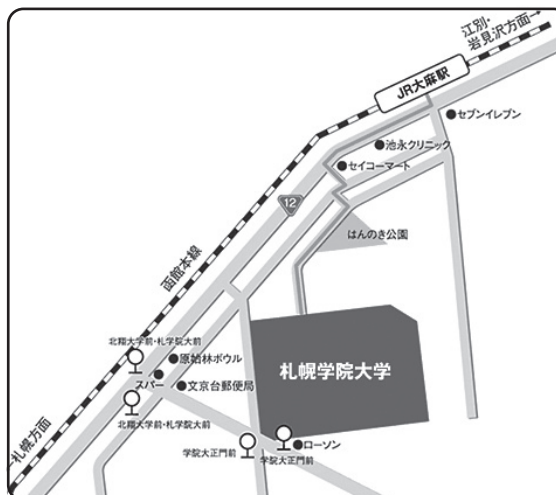
○(JRバス・夕鉄バス)⇒学院大正門前、または北翔大学:札幌学院大学前下車
所要時間:乗車約10分+徒歩1~3分

- JRバス/10番乗り場
- 夕鉄バス/12番乗り場



社会連携センター
コミュニティ・カレッジ
会場案内

〒069-0855
江別市文京台11番地
札幌学院大学 1号館2階



一般講座

講座番号

1

大学は面白い!

定員 / 50名

受講料 / 無料(全3回)

人生100年時代と言われています。産業構造が変化し、グローバル化の進展と同時にユニークな地方の価値も見直されるようになりました。一方で少子高齢化、人口減少が進んでいます。このような社会では、大学は多様な世代の学生を積極的に受け入れ、職業や人生の経験を「学び」の資源として活用することも期待されています。「大学は面白い」という講座は、改めて大学(学びや研究)の面白さを知っていただくと同時に、我われ大学の教職員も受講者の方々から忌憚のないご意見を伺い、大学の役割や創造的な「学び」について考える講座にしたいと考えています。

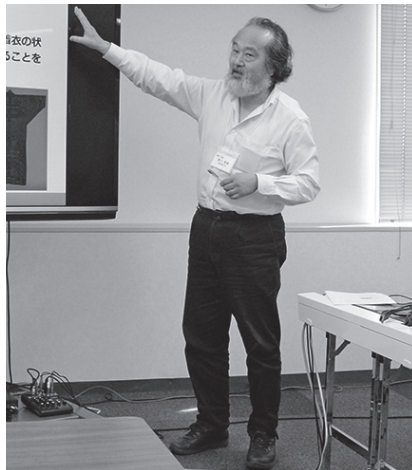
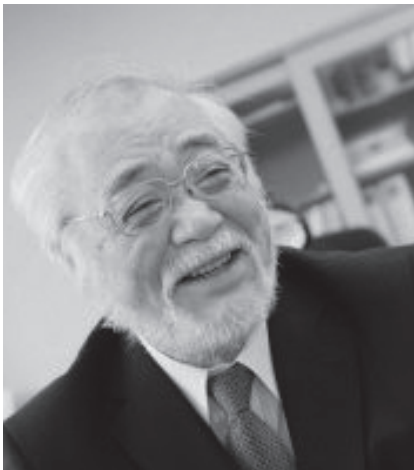
回	テーマ / 講座日	内 容
1	考古学者の文化論 7月6日(金) 午後 13:30~15:30	話者は考古学者ですが、原始時代から現代まで、アフリカ・イラン・ロシア・モンゴル・日本まで、自身の調査を通して得た文化体験を料理しながら語ります。大学はなぜおもしろいか、話を聞けば、おわかりになります。 講師 / 札幌学院大学学長 鶴丸 俊明
2	「デジタルアーカイブ」 7月13日(金) 午後 13:30~15:30	人間の記憶は、映像・図形・文字・音声などが、さまざまな形で記録され受け継がれてきた。デジタルアーカイブはこのような情報をデジタル化して記録し、世界中に公開するとともに「過去といま」を後世に遺す手段となる。 講師 / 札幌学院大学副学長 皆川 雅章
3	「動く教室！」 7月20日(金) 午後 13:30~15:30	大きな教室の後ろ半分に座って、教授の話を静かに有難く聞く、そんな姿は今の大学では流行遅れ。今は五感を最大限駆使し、体全体を使って、他者と関わりながら授業に臨む、まさしく「動く教室！」がトレンドだ! 講師 / 札幌学院大学副学長 石川 千温

講師紹介

鶴丸 俊明(つるまる としあき) 1948年生まれ。筑波大学大学院歴史人類学研究科文化人類学専攻博士課程単位取得満期退学。現在札幌学院大学教授、理事、学長。日本女子大学、駒澤大学、東海大学、明治大学、東京学芸大学の講師を兼任して、昭和62年札幌学院大学助教授に着任。専門は東アジア考古学、年代学。文学修士。モンゴル科学アカデミー名誉博士。

皆川 雅章(みながわ まさあき) 1956年生まれ。北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。現在、札幌学院大学教授、副学長。図書館長と電子計算機センター長を兼任。札幌学院大学、北海道工業大学等の非常勤講師を経て、平成3年に札幌学院大学社会情報学部助教授に着任。現在の関心事は地域の文化・歴史のアーカイブ化。デジタルアーカイブ学会評議員、上級デジタルアーキビスト。

石川 千温(いしかわ ちはる) 1962年生まれ。北海道大学工学部応用物理学科卒業、北海道大学大学院工学研究科生体システム専攻修士課程修了、室蘭工業大学大学院工学研究科生産情報システム専攻博士課程修了、博士(工学)。現在、札幌学院大学副学長、経営学部教授。光学機器メーカー、専門学校講師、北海道職業能力開発短期大学校講師を経て、平成8年札幌学院大学商学部講師に着任。専門はデジタル画像処理、近年はICTを活用した教育方法の実践研究に従事。



講座番号

2

ハラスメントの心理学

～あなたが被害者にも加害者にもならない為に！～

定員／50名

受講料／2,000円(全2回)

セクハラ(性的嫌がらせ)・パワハラ(権力的嫌がらせ)・モラハラ(倫理的嫌がらせ)等、私たちの社会ではハラスメントの問題がまだまだ適切に対応されていません。特に日本人の社会では「上位→下位」の人間関係を過剰に容認し過ぎる傾向があります。もはや、現代ではハラスメントは事件(犯罪)として追及され始めています。あなたの職場で、誰も被害者にも加害者にもならない為に、この研修受講をお勧めします。

回	テーマ／講座日	内 容
1	ハラスメントの心理学① 5月11日(金) 午後 13:30~15:30	セクハラ(性的嫌がらせ)・パワハラ(権力的嫌がらせ)・モラハラ(倫理的嫌がらせ)等、これらのハラスメントの問題の理解とその対処について、誰もが被害者にも加害者にもならない為に、検討を進めます。
2	ハラスメントの心理学② 6月29日(金) 午後 13:30~15:30	ロールプレイを通して、ハラスメントの対処行動を練習します。リハーサル訓練を経ないと、頭で考えていても、対処行動に移れません。

講師／日本ケア・カウンセリング協会代表理事 臨床心理士 品川 博二

講師紹介

品川 博二(しながわ ひろじ) 臨床心理士。1949年東京生まれ。早稲田大学卒業後、東京教育大学(現筑波大学)で臨床研修。磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年 NPO 法人日本ケア・カウンセリング協会設立、現在同代表理事。東京学芸大学・目白大学大学院講師、横浜地裁の精神鑑定人および聖路加国際病院精神腫瘍科を歴任。著作に「アマデウス・シンドローム」、「死別から共存の心理学」他多数。



講座番号

3

現代の中国 —その政治、経済、社会と歴史—

定員 / 50名

受講料 / 3,000円(全3回)

現代の中国を多面的に見ます。日本の隣国である中国を正確に知っておかないと、日本人としては対処できなくなります。政治、歴史、社会、経済の側面から考察し、我々の常識では理解できない諸点を抽出したいと思います。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	中国の最近年の歴史 6月5日(火) 午後 13:30~15:30	1949年に革命が起きてから、現在までの本質的な歴史を考察します。
2	現代中国の政治と社会 6月12日(火) 午後 13:30~15:30	中国の特異で独特な政治・社会のあり方、つまり、西欧や日本と違った体制・思想をもつ中国を見ます。
3	現代の中国の経済 6月19日(火) 午後 13:30~15:30	グローバル時代を迎え、世界第二の経済大国になった中国の経済の本質を知ってみる。

講師 / 元札幌学院大学教授 小樽商科大学名誉教授 倉田 稔

講師紹介

倉田 稔(くらた みのる) 1941年生まれ。慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。小樽商科大学名誉教授、元札幌学院大学特別専任教授。アムステルダム研究所留学 ウィーン大学留学 オーストリア抵抗研留学。北大、藤女子大、東北大などでも教える。著書に「金融資本論の成立」「ハブスブルク歴史物語」など多数。経済学博士(慶大)。



講座番号

4

【人間理解学講座】(第8回)

『ノーベル賞の光と影』—人間の「賞」をめぐる心理とその悲喜劇—

定員／50名

受講料／6,000円(全4回)

毎年、ノーベル賞(物理学、化学、生理学医学、文学、平和、そして経済学)の発表の時期になると、世界の人々が注目します。そもそも、ノーベル賞とは何なのでしょう。今回は、それを考えてまいります。何事にも「明と暗」「表と裏」「建前と本音」があるように、ノーベル賞という「賞獲得競争」にも「光と影」があります。今回は、その視点からノーベル賞の本質、そして「賞」がもつ一般的性質とそれをめぐる人間の悲喜劇、人間の心のありようについても理解が深められたら、と願っております。

回	テーマ／講座日	内 容
1	ノーベル賞とは何か？ (総論的解説) 5月24日(木) 午後 13:30~15:30	1895年に創設され、1901年から始まった世界的な賞であるノーベル賞は、スウェーデンの発明家・企業家で、ダイナマイトなどの爆薬を開発・生産し、巨万の富を築いたアルフレッド・ノーベル(1833~1896)の遺言によるものです。彼の人生をひもときたどりながら、ノーベル賞の歴史経過にふれ、ノーベル賞の部門、資格、授賞条件、評価と論争などについて紹介します。そして、ノーベル賞の本質について、および人間の「賞」をめぐる心理のありよう、人間ドラマの視点を含め、皆さまと考えてまいりたいと思います。 講師／元・札幌学院大学大学院臨床心理学研究科 教授 現・北海道大学大学院教育学院臨床心理学講座 非常勤講師 安岡 譽 コーディネーター／若原 正己
2	文学賞、平和賞、経済学賞の光と影 5月31日(木) 午後 13:30~15:30	文学賞は「スウェーデン・アカデミー」が選考し、日本人では川端康成、昨年は英国籍のカズオ・イシグロ氏が受賞しました。サルトルのように辞退した人もいます。平和賞では、首をかしげたくなる受賞者も出ました。この賞は「ノルウェー・ノーベル委員会」が選びます。一方、経済学賞だけは「アルフレッド・ノーベル記念スウェーデン国立銀行経済賞」が正式名称です。これらの3部門については、選考基準や結果について、いろいろ論議がまきおこっています。それらの事情について、具体的な例をあげながら、考えてまいりたいと思います。 講師／安岡 譽 コーディネーター／若原 正己
3	生理学医学賞の光と影 6月7日(木) 午後 13:30~15:30	ノーベル賞は賞金・栄誉とも世界最高の賞ですが、人間のやることで多岐にわたる問題が生じます。ノーベル生理学医学賞の影として有名なのは①「ガンの寄生虫説」に対する授賞、②ロボトミーの功罪、③殺虫剤 DDTの開発者への授賞、④激しい受賞競争をめぐる論文ねつ造やデータの借用の影などです。また、ノーベル賞が一件3人までという縛りがあるため、当然受賞する資格がありながら受賞を逃す悲劇もありました。光の部分として日本人受賞者の活躍・貢献、特に利根川進博士、山中伸弥教授についてお話しします。 講師／元・北海道大学理学部准教授 若原 正己 コーディネーター／安岡 譽
4	物理学賞、化学賞の光と影 6月14日(木) 午後 13:30~15:30	日本人として初めてノーベル賞を受賞した物理学賞の湯川秀樹博士は戦争に打ちひしがれた日本人に大きな希望をもたらしました。水泳競技で「フジヤマのトビウオ」とたたえられた古橋広之進選手とともに忘れることができせん。物理学賞・化学賞は軍事産業や核兵器・毒ガス開発など戦争とも大きく関係していますので、科学技術のデュアル・ユース(民生と軍事利用)について考えます。一人で2度も受賞した何人かの研究者についてもお話しします。近年日本人研究者の受賞が相次いでいますが、今後は少し心配です。 講師／若原 正己 コーディネーター／安岡 譽

講師紹介

安岡 譽(やすおか ほまれ) 1944年生まれ。札幌医科大学大学院医学研究科修了(医学博士)。札幌医科大学神経精神科講師、福岡大学講師、札幌佐藤病院副院長、札幌学院大学大学院教授を歴任。共著に、『精神分析を学ぶ』『青年期の精神病理と治療』『精神科症例集』『非行少年』『精神分析事典』『ひきこもる心のケア』など多数。統合失調症や手首自傷(リストカット)、うつ病の研究など多彩であるが、最近の研究テーマは、「こころの本質に関する研究」。現在、北海道大学大学院教育学院臨床心理学講座非常勤講師、札幌国際大学人文学部心理学科非常勤講師、北海道精神療法精神分析アカデミー協会会長。精神科医、精神保健指定医、精神分析医、臨床心理士。

若原 正己(わかはら まさみ) 1943年生まれ。北海道大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)。元北海道大学理学部および同大学院理学研究科准教授。専門は発生生物学。多くの論文があるが、単著に、『なぜカエルからヒトは生まれないのか』『黒人はなぜ足が速いのか』『シネマで生物学』『なぜ男は女より早く死ぬのか』、近刊では、『ヒトはなぜ争うのか』『ヒトはなぜ病み、老いるのか』などがある。趣味の絵手紙俳句やエッセイをブログでつづっている。(http://ameblo.jp/3491mw/)

講座番号

5

ドビュッシーが描いた夢と憧れの世界

定員 / 50名

受講料 / 3,000円(全3回)

19世紀中頃のパリ万国博覧会はヨーロッパの人々に大きな衝撃を与えました。展示された世界の文化は彼らのものとはあまりにも異なり、かつ魅力的だったのです。ドビュッシーもその一人でした。ジャワのガムラン音楽を聴き、浮世絵をはじめとする日本の美術に触れて、自らのその後の作品にこれらを色濃く反映させました。それによってドビュッシーは、余人の及ばぬ新しいスタイルの音楽を確立することができたのです。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	文学、絵画と音楽。「沈める寺」は何処に? 5月23日(水) 午後 13:30~15:30	彼のピアノ作品には物語を題材にしたものがたくさんあります。ワトーの絵画「シテール島への船出」が題材といわれる《喜びの島》。シェークスピアの『夏の夜の夢』の一場面を描いた《バックの踊り》など。その夢想の世界を探ります。
2	《牧神の午後への前奏曲》から《帆》へ 5月30日(水) 午後 13:30~15:30	マラルメの牧歌劇をもとに作曲された《牧神の午後への前奏曲》は、初演時から絶大な反響を呼びました。そこには斬新な手法がふんだんに盛り込まれていますが、その最たるものは全音階で、彼の専売特許ともいべきものです。
3	エキゾティシズムとジャポニスム 6月6日(水) 午後 13:30~15:30	空想のスペインを描いた《グラナダの夕べ》、ジャワ音楽に触発された《パゴダ》、そして葛飾北斎の浮世絵がスコアの表紙を飾った交響詩《海》。仕事部屋では、黒漆の上に錦鯉が描かれた文箱を愛用していたそうです。

講師 / 北海道教育大学名誉教授 中村 隆夫

講師紹介

中村 隆夫(なかむら たかお) 1945年生まれ。北海道教育大学特設音楽課程卒業。リスト音楽院留学。指揮者。北海道教育大学名誉教授。日本コダーイ協会会長。国際コダーイ協会理事。札幌コダーイ合唱団・合奏団指揮者。コダーイ音楽劇《ハーリ・ヤーノシュ》(訳・編。全音楽譜出版社)。ドビュッシー《牧神の午後への前奏曲》(ピアノ編曲。同前)。2013年度札幌芸術賞受賞。



講座番号

6

再生エネルギー国際大競争と日本の原発輸出戦略 —原子力安全神話の謎の歴史続編(第6回)—

定員 / 50名

受講料 / 4,000円(全4回)

原発は経済的に割高になってきました。東芝の経営危機もその一端。米国エネルギー省は、シェール革命で苦境に立つ原発と石炭火力を補助する政策を、「市場競争を歪める」として却下。いま、米・欧・中国で再生エネルギーの凄まじいコスト削減競争が展開しています。今回は、「送電線は誰のもの？」を切り口に、再稼働と原発輸出に固執する日本と、世界の再生エネルギー重視の流れとのギャップについて考えましょう。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	再生エネルギーの世界大競争 5月25日(金) 午後 13:30~15:30	1) トランプの原爆小型化とビル・ゲイツの原発小型化 2) 主要諸国の21世紀エネルギー需給動向 3) 米欧中での大競争と小泉元首相らの「原発ゼロ法案」 4) 太陽光発電と風力発電のコスト激減傾向
2	送電線は誰のもの？ 6月1日(金) 午後 13:30~15:30	1) 「東北電力ショック」: 送電線は原発に優先権 2) 京都大学再生可能エネルギー経済学講座の解析 3) 電力自由化と送電線問題 4) 欧州の広域電力系統 C&M の経験から学ぶ
3	安倍政権の原発輸出戦略 6月8日(金) 午後 13:30~15:30	1) 米エネルギー省委員会の原発・石炭火力補助否決 2) 東電のトヨタ式カイゼン導入と柏崎刈羽適合決定 3) 東芝・日立・三菱・仏アレバの現況 4) 安倍政権の原発輸出戦略と中口原発ビジネス
4	変わらない日本原子力村の体質 6月15日(金) 午後 13:30~15:30	1) 日米原子力協定の延長 2) 進退窮まる日本原燃の核燃料再処理施設 3) NUMO の「地下処分意見交換」が示唆するもの 4) 廃炉と高レベル核廃棄物処理の難問

講師 / 札幌学院大学名誉教授 佐々木 洋

講師紹介

佐々木 洋(ささき 洋) ジョレス・メドヴェージェフ著「ウラルの核惨事」および「生物学と個人崇拜」日本語版(現代思潮新社刊)の監修と解題を担当。論文「日本人はなぜ地震常襲列島の海浜に「原発銀座」を設営したか」『札幌学院大学経済論集』4号、論文「広島、長崎、ウラル、チェルノブイリ、福島—歴史に刻まれた国際原子力村の相互支援—」中部大学紀要「アリーナ」17号など。



講座番号

7

『世界経済の展望とマネープランへの影響』

定員 / 50名

受講料 / 2,000円(全2回)

本人の破天荒なツイッターのつぶやきとは別で、トランプ大統領側近の現実的政権運営や米国と中国、欧州の景気の堅調さも評価されて、今年の世界経済は楽観論が支配的です。その陰で米朝の軍事衝突懸念や中東情勢の流動化、中国の金融政策の変更などリスクの種に事欠きません。次の危機は過去の経験や予想を超えて起きるとの見解もあります。世界経済の定点観測を始めて18年、想定される波乱に備えた堅実なマネープランを研究します。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	トランプ相場・アベノミクス相場は大丈夫? 6月16日(土) 午前 10:00~12:00	米国の利上げに続き欧州の金融緩和の終了が目前ですが、日本は依然としてデフレ脱却に手間取っています。日銀の国債や株式の買入れも限界に近づきます。今年の資産運用上のリスクと注意点を確認します。
2	今年もやはり『長期国際分散投資』 6月16日(土) 午後 13:00~15:00	「人生100年時代」に将来不安が山積する日本人。金融商品を知るだけでなく、少額でも始めないと流れに取り残されます。バブル崩壊や景気変動に備えながら、『行動なくして理論なし』を実践して行きましょう。

講師 / 札幌学院大学大学院非常勤講師 白根 壽晴

講師紹介

白根 壽晴（しらね としはる） 1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、住友電気工業(株)を経て税理士登録。97年にエフピーインテリジェンス設立。現、代表取締役。ライフプランに基づくコンサルティングや執筆、大学や金融機関での講演活動など幅広く活躍。資産運用アドバイスに強いFPとして定評がある。『オーナー社長の資産戦略と実務』『定年後のお金全疑問45』など著書も多数。日本FP協会理事 長 CFP®・税理士。



講座番号

8

特別支援教育実践構築の一視角 —場面緘黙症や愛着障害性を抱える当事者から学ぶ

定員／50名

受講料／3,000円(全3回)

近年、少子化が進む一方で、特別支援学校・特別支援学級などの特別な教育の場で学ぶ児童生徒や、発達障害など特別な教育的支援を要する幼児児童生徒学生が増えています。こうしたことから、医療・福祉・労働との連携をふまえつつ、教育的なアプローチへの期待が一層高まっています。では、実りある教育実践はどのように構築できるのか。その問いに対する一つの答えが、当事者から学ぶという方法です。本講習では、かつて場面緘黙症や愛着障害性を抱え、さまざまな工夫と努力によって問題を克服してきた当事者の語りを聴き、そのうえで、特別支援教育実践構築を展望したく支援の原理>に迫ります。

回	テーマ／講座日	内 容
1	発達障害や精神的な困難を抱える子ども・青年の教育的支援を考える 8月9日(木) 午前 10:00~12:00	ゲストスピーカーの大橋さんも二本松さんもある問いをもって私の研究室にきました。正解は出せなくても最善の答えは出したい、そう思ってこれまで子ども・青年と対話を重ねてきました。こんな場面、こんな話にどう対応する?という問いに対する私なりの答えを語ります。 講師／札幌学院大学人文学部教授 二通 諭
2	場面緘黙・引きこもり経験者が考える教育の役割 8月9日(木) 午後 13:00~15:00	特定の場面で話せない・動けない状態になる場面緘黙になったのは小学4年のとき。小学校や中学校では、コミュニケーションが著しく阻害され、学校生活を営むのが困難になり不登校になった。しかし、大学では大きな飛躍を得る。本講座では自身の歩みを語る中で、教育が発揮できる役割について考えたい。 ゲストスピーカー／場面緘黙・引きこもり経験者 大橋 伸和 コーディネーター／二通 諭
3	被虐待による愛着障害性と その克服における教育の役割 8月9日(木) 午後 15:20~17:20	「僕は、親から捨てられました。親から捨てられるほどの子どもって何か問題があるのでしょうか?例えば発達障害とか…」との問いをもち、二通諭先生の研究室を訪ねて3年以上が経過しました。心理的・身体的な虐待を受けたことによる精神的な外傷とその克服について、教育の役割を含めて語ります。 ゲストスピーカー／愛着障害性を自認する当事者 二本松一将 コーディネーター／二通 諭

講師紹介

二通 諭 (につう さとし) 1951年札幌郡手稲町生まれ。北海道教育大学札幌分校卒。小中学校での35年間の教員生活の後、2009年から札幌学院大学で主に特別支援教育関連科目を担当。単著に『映画で学ぶ特別支援教育』、『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』、編著書に『特別支援教育コーディネーター必携ハンドブック』、『障害児の教育権保障と教育実践の課題 養護学校義務制実施に向けた取り組みに学びながら』。

大橋 伸和 (おおはし のぶかず) 1984年生まれ。11歳頃から24歳までの約13年間場面緘黙症となる。様々な支援を受けながら、25歳の時に札幌学院大学人文学部人間科学科に入学した。在学中から現在に至るまで自身の経験をもとに講演活動を行っている。

二本松 一将 (にほんまつ かずまさ) 1994年7月17日生まれ。東京都出身。16歳の誕生日に両親が離婚。父親についていくも関係がうまくいかず、大学進学は北海道を選択。大学における学びをとおして、自身に“愛着障害性”があることを発見。子ども食堂“ここなつ”の学生代表を務め、現在は札幌学院大学研究生として「子ども食堂」についての調査研究を進めている。



講座番号

9

デジタル一眼レフ写真講座

定員 / 25名

受講料 / 6,200円(全5回)

いわゆる「0年代」の10年間で従来のフィルムを使用した「銀塩写真」の衰退、デジタル技術を利用したデジタルカメラの普及が急速に進展し写真撮影のシステムが急激に変化をしました。

デジタル一眼レフの撮影技術の習得を通じて皆さんの自由な視点で表現をし、写真を通じて「発信」していこうと思います。写真撮影実習と座学を通して撮影技術と写真についての考え方を学んでいきますが、各カメラの個別の使用方法を教えるものではありませんのでご注意ください。(カメラの使用法が解らない方は取り扱い説明書を必ずご持参ください。)

今回は穏やかな春の札幌で草花のマクロ撮影と旅情あふれる港町「小樽」を撮影し、「旅と写真」旅先で使うであろう写真術を学びながら写真を通じての自己表現を学んでいきます。

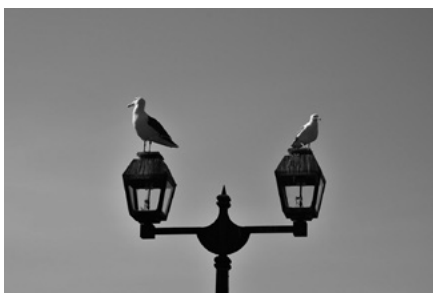
回	テーマ / 講座日	内 容
1	『旅写真 / 歴史ある街並みを訪ねて』 (野外撮影実習) 集合場所：JR 小樽駅(予定) *雨天決行 5月13日(日) 13:30~16:00	旅情あふれる港町小樽。倉庫群や小樽運河など歴史的な街並みを、カメラを持って実際に歩きながら撮影を進めていきます。写真を使った自己表現の方法を探っていきます。
2	撮影解説(1) 撮影をふりかえる 6月3日(日) 10:30~12:30	受講生の皆さんが撮影したものを、モニターを見ながら直接アドバイスをします。具体的にどのように撮影したらよりよくなるかを一緒に考えていきます。
3	『モエレ沼公園を訪ねて』 (野外撮影実習) 集合場所：モエレ沼公園(予定) *雨天決行 6月24日(日) 13:30~16:00	世界的に著名な彫刻家イサム・ノグチが手がけ、「全体をひとつの彫刻作品とする」というコンセプトで創られたモエレ沼公園、公園全体が魅力的な撮影ポイントです。実際に歩きながら撮影を進めていきます。写真を使った自己表現の方法を探っていきます。
4	『札幌学院大学大学祭をスナップ撮影』 (撮影実習) 6月30日(土) 11:00~13:30	札幌学院大学キャンパスで開催されます大学祭、様々なイベントが学内で開催されます。イベントやスナップなどを撮影してみましょう。
5	撮影解説(2) 撮影をふりかえる 7月7日(土) 10:30~12:30	受講生の皆さんが撮影したものを、モニターを見ながら直接アドバイスをします。具体的にどのように撮影したらよりよくなるかを一緒に考えていきます。前回 / 前々回の撮影を通して今回の講座で得たものを発表していきます。

(注)野外撮影実習の集合場所・時間は、受講者に後日送付する案内でご確認ください。

講師 / 公益社団法人日本写真家協会会員 / 日本旅行写真家協会会員 / NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク会員 浅野 久男

講師紹介

浅野 久男(あさの ひさお) 1963年生まれ。札幌学院大学卒業後、写真撮影会社を経て2007年エムフォトワークス設立。北海道を中心に、旅と風景を題材とした撮影活動が続ける。高校や札幌市生涯学習財団などで写真講座を担当する。東川町国際フォトフェスティバル企画委員。洞爺湖サミット(2008年7月開催)の際に各国首脳に寄贈された、記念写真総集「北海道北の記憶」にも作品が掲載されるなど幅広く活動している。写真展も数多く開催。



講座番号

10

大学バスで行く自然観察会 —バードウォッチングを楽しもう(石狩川河口と石狩浜周辺)—

定員 / 30名

受講料 / 3,300円(バス代含む) (全1回)

北海道の母なる川である石狩川。その河口部には開けた草原や砂浜が広がっています。ここには多くの草原性の野鳥が生息しています。石狩浜は北海道自然環境保全指針で定める「すぐれた自然地域」に指定され、生物多様性に富んだ海辺の自然環境が残された貴重な場所です。カシワの天然海岸林と海岸砂丘植物も同時に観察できるでしょう。草原・水辺・森林の鳥たちを数多く観察できます。視界をさえぎるものが少ない草原は野鳥を見つけやすく、観察も容易で初心者にはお勧めの観察地です。天気が良ければ40種前後の野鳥が観察できるでしょう。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	石狩川河口と石狩浜周辺の自然を楽しもう 集合場所：JR 大麻駅 *雨天決行 5月19日(土) 8:00~16:00(予定)	(観られそうな野鳥) 草原性のもの…コヨシキリ、ノビタキ、ノゴマ、ホオアカ、オオジュリン、チュウヒなど。 水辺のもの…カモメ類、カモ類、ウミウ、シギ類など。 森林性のもの…アカハラ、キビタキ、コムクドリなど。

*時間・集合場所は予定です(受講者に後日送付する案内でご確認ください)。
 (参加条件) 健康で長時間歩くことが可能な方。

講師 / 日本野鳥の会札幌支部 副支部長 猿子 正彦 講師 / 日本野鳥の会札幌支部 幹事 池田 憲治

講師紹介

猿子 正彦(ましこまさひこ) 1952年生まれ。北海道夕張市出身。高校時代から野鳥や自然が好きで北海道内の探鳥地をいろいろと歩き回る。25年以上にわたって日本野鳥の会札幌支部(会員700名)副支部長として年間20回以上の探鳥会や自然観察会、鳥類調査の企画や指導運営にあたっている。

池田 憲治(いけだ けんじ) 1956年生まれ。札幌市出身。日本野鳥の会札幌支部幹事として、20年以上にわたって、年間15回以上の探鳥会や観察会の企画や指導運営を行っている。主な観察フィールドは西岡公園(札幌市豊平区)など。



講座番号

11

フットパスを歩こう!

定員 / 40名

受講料 / 2,100円(全2回)

今、日本中でフットパスの輪が広がっています。フットパスとは英国発祥の「歩行専用路」と日本語には置き換えることができるでしょう。北海道では「フットパス(歩く文化)」が生まれてから20年近く経ちました。全国に先駆けて広まった北海道のフットパスはどのような進化を続けてきたのでしょうか。フットパスの解説だけでなく、札幌学院大学周辺のフットパスも歩く実践的な講座です。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	北海道、日本で広がるフットパス ～歩いて楽しむ道～ 6月7日(木) 午後 13:30~15:30	北海道のみならず、日本中で広がり続けるフットパスの歴史や文化、各地のフットパスなどを実際の写真を使ってご紹介します。札幌市近郊のルートもご紹介します。
2	フットパスウォーク【大麻駅周回】 *雨天決行 6月9日(土) 10:00~14:00(予定)	JR 大麻駅を起終点とした初夏を楽しめるルートを歩きます。自然エリアの野幌森林公園内も通る予定です。昼食は毎回恒例となっている札幌学院大学の学生食堂でとります。

※フットパスウォークの集合場所等は6月7日の座学の回でお知らせします。

(参加条件) 健康で2~3時間歩ける方。

講師 / エコ・ネットワーク代表代行 小川 浩一郎 講師 / 札幌学院大学非常勤講師 エコ・ネットワーク代表 小川 巖

講師紹介

小川 浩一郎(おがわ こういちろう) 1980年生まれ。株式会社ジオ代表取締役、エコ・ネットワーク代表代行。北海道科学大学客員准教授。各地でフットパスの普及活動、イベント開催、プロデュース等を行っている。著書『北海道フットパスガイド①』『北海道フットパスガイド②』
小川 巖(おがわ いわお) 1945年生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了。札幌学院大学非常勤講師。エコ・ネットワーク代表。フットパス・ネットワーク北海道事務局長。著書『あなたはクマやハチと共存できますか?』『フットパスに魅せられて一私のフットパス遍歴』他。



講座番号

12

ファイナンシャル・プランナー(3級FP技能士) 資格対策講座

定員 / 30名

受講料 / 18,000円(別途教材費 3,000円程度)(全12回)

国家資格

消費税の増税やインフレ政策の導入など私達の生活やお金を取り巻く環境はここ数年大きく急速に変化しており、個人のお金や人生設計に関する知識がますます必要な時代になってきました。

人生の夢や目標を実現し、充実した生活を送ることは、人々に共通した願いです。しかし、これらを実現するためには「ライフプラン」と呼ばれる人生設計と経済的支えとして「お金」のことを考えなければなりません。これらのライフプランニングの知識を有するFP(ファイナンシャル・プランナー)は、お金のホームドクターともいわれるように、金融、年金、相続、保険などの総合的なアドバイザーとして認定された国家資格です。最近では社会的認知度も高まり、先ず自分と家族の人生設計に役立てるためにFP資格を取得する人が増えています。

当講座は、金融経済に詳しくない初心者(社会人、主婦、学生を含む)を対象に、資格取得できるように企画されています。楽しくやさしく学べる講座です。

○事前説明会日

①2018年4月14日(土) 13:30~14:30

場所: 札幌学院大学 1号館

○事前説明会参加希望者は電話(代表) 011-386-8111コミュニティ・カレッジ係 又はFAX 011-386-8113までお申し込みください。

(FAXの場合は住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。)

回	テーマ / 講座日	課 目	内 容
1	5月12日(土) 午後 13:30~15:30	ライフプランニング①	ライフプラン、係数、健康保険
2	5月19日(土) 午後 13:30~15:30	ライフプランニング②	年金保険、住宅資金・教育資金プランニング
3	5月26日(土) 午後 13:30~15:30	リスク管理①	生命保険の仕組みと生命保険商品の特徴
4	6月2日(土) 午後 13:30~15:30	リスク管理②	損害保険の仕組みと損害保険商品の特徴
5	6月9日(土) 午後 13:30~15:30	タックスプランニング①	所得税の仕組み、各種所得
6	6月16日(土) 午後 15:30~17:30	タックスプランニング②	所得控除、損益通算
7	6月23日(土) 午前 10:00~12:00	金融資産運用①	経済用語、株式投資、債券投資
8	6月23日(土) 午後 13:00~15:00	金融資産運用②	投資信託、外貨投資、分散投資
9	6月30日(土) 午後 13:30~15:30	不動産運用設計①	登記、不動産取引と法律
10	7月21日(土) 午後 13:30~15:30	不動産運用設計②	借地借家法、不動産の税
11	7月28日(土) 午後 13:30~15:30	相続・事業承継①	法定相続分、遺言
12	8月4日(土) 午後 13:30~15:30	相続・事業承継②	相続税の計算、贈与

※実施課目は前後入れ替わる場合があります。

※当講座終了後、試験対策演習(¥3,000)を実施します(参加任意)。日程は8月25日(土)13:30~17:30

講師 / 札幌学院大学大学院非常勤講師 白根 壽晴 (6/23担当)

講師 / 札幌学院大学非常勤講師 中谷 俊雄

講師紹介

白根 壽晴(しらね としはる) 1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、住友電気工業(株)を経て税理士登録。97年にエフピーインテリジェンス設立。現、代表取締役。ライフプランに基づくコンサルティングや執筆、大学や金融機関での講演活動など幅広く活躍。資産運用アドバイスに強いFPとして定評がある。「オーナー社長の資産戦略と実務」「定年後のお金大疑問45」など著書も多数。日本FP協会理事長 CFP®・税理士。

中谷 俊雄(なかたに としお) 1973年生まれ。札幌学院大学大学院修士課程修了。不動産業界を経て2001年からFP業に従事。2005年にFPオフィススライズ設立(岩見沢市)。個人および法人従業員のライフプラン相談の他、大学、カルチャースクールで投資講座、FP資格の取得講座を開講。単著に『ズバリわかる!FP技能検定3級』(ナツメ社)、他。札幌学院大学経営学部非常勤講師。CFP®、1級FP技能士、宅地建物取引士。

英会話講座

2018年の英会話講座は、入門1クラス、基礎2クラス、中級1クラス、中上級1クラス、合計5クラスを開講いたします。5月から週1回、全24回の講座です。ベテランのネイティブスピーカーが丁寧に、楽しく、英会話を指導いたします。なお、レベルはE1(入門レベル)からE5(応用レベル)の順になっています。

※コーディネーター：Tim Grose(元・札幌学院大学人文学部准教授)(各クラス1回目担当)

講座番号

E1

入門英会話 START ENGLISH!

定員 / 20名

受講料 / 36,000円(全24回) ※教材費別途

英会話の世界へようこそ！この講座では、英単語の正しい発音と聞き取りから始めて、日常生活の場面で必要になる基本的な単語を習得し、初歩的な言い回しを身につけます。外国人に簡単な自己紹介や簡単な道案内などができるようになることをめざします。一緒に楽しく学びましょう。

講座日時	講師
5月17日(木)~12月6日(木) 午後 13:30~15:30 毎週木曜日 全24回	元札幌学院大学准教授 Tim Grose

テキスト：『Cambridge English EMPOWER A1』(Cambridge University Press)を使用予定。
対象：英会話をこれから始める方、英語からしばらく離れており、話すことも聞くことも自信のない方。

講師紹介

Hello. My name is Tim Grose. I'm from England. In this class we will practice speaking in English. Please enjoy the challenge!

講座番号

E2

基礎英会話(海外旅行) TRAVEL ENGLISH

定員 / 20名

受講料 / 36,000円(全24回) ※教材費別途

この講座では、海外旅行に必要な基礎的な英語力を高めます。外国の街角に立って道をたずねたり、ショッピングをしたり、博物館や美術館などの名所回りをするときによく使う表現を学びます。また、現地の人とある程度会話できるような会話力を身につけます。この学習で海外旅行が永遠の思い出になるでしょう。

講座日時	講師
5月16日(水)~12月5日(水) 午後 13:30~15:30 毎週水曜日 全24回	札幌学院大学非常勤講師 Brendon Muir

テキスト：『Passport to New Places』(Oxford University Press)を使用予定。
対象：海外旅行をする際に基礎的な英会話の力をつけたい方。

講師紹介

I was born and educated in New Zealand. My academic field includes both psychology and language acquisition. In my free time I enjoy golf and outdoor sports, and I look forward to traveling to many more countries in the future.



講座番号

E3

基礎英会話(日常生活) ENJOY ENGLISH!

定員 / 20名

受講料 / 36,000円(全24回) ※教材費別途

この講座では、日常生活に必要な基礎的な英会話力を高めます。コミュニケーションの力を高めるには、できるだけ多くのフレーズを身につけ、実際に使用することです。ネイティブの先生を囲んで学んだ英語を実践しましょう。英米圏のマナーについての知識なども学びます。

講座日時	講師
5月18日(金)~12月14日(金) 毎週金曜日 全24回 午後 13:30~15:30	札幌学院大学講師 Koch Junior, J. C.

テキスト：『Impact Issues 2』(Pearson Japan)を使用予定。

対象：日常生活での基礎的な英会話を身につけたい方。

講師紹介

Hello! I'm Jr Koch. Please call me Jr. I'm originally from Brazil. I used to live in New Zealand, where I taught English to international students. I now live in Hokkaido with my family, and I work at Sapporo Gakuin University. I love studying and teaching, and my hobbies are reading, writing and enjoying a cup of coffee with my friends. Let's enjoy speaking English together!

講座番号

E4

中級英会話(日常生活) ENJOY ENGLISH!

定員 / 20名

受講料 / 36,000円(全24回) ※教材費別途

この講座では、すでにある程度日常会話を学んだ方を対象に、さらにレベルアップした重要な慣用的表現を使いこなす、自分の考えや気持ちをいっそう豊かに表現することをめざします。講師の先生やクラスの仲間とさまざまな話題についておしゃべりする楽しい時間のなかで、さらに進んだ英会話力を身につけましょう。

講座日時	講師
5月15日(火)~12月4日(火) 毎週火曜日 全24回 午後 13:30~15:30	札幌学院大学講師 Robert Olson

テキスト：『Social View』(三修社)を使用予定。

対象：すでに基礎的な英会話を身につけている方。

講師紹介

Hi! I was an elementary and junior high school teacher in Michigan, USA. I came to Japan in 1991 and was a teacher in Iburi, and at NCA English Centre. I was an Associate Professor at Tomakomai Komazawa University and I now teach at Sapporo Gakuin University. I enjoy writing and drawing.

講座番号

E5

中上級英会話(グローバルトピック) GLOBAL ENGLISH

定員 / 20名

受講料 / 36,000円(全24回) ※教材費別途

The class is communicative. Students will have many chances to speak in guided and free situations. So do not be shy or worried about making mistakes! Topics will include: population, global warming, energy problems, women and children's issues and other environmental topics.

講座日時	講師
5月19日(土)~12月15日(土) 毎週土曜日 全24回 午後 13:30~15:30	札幌学院大学社会連携センター講師 David Flenner

テキスト：『World Class 2』(Cengage Learning)を使用予定。

対象：ある程度自分の意見や考えを英語で表現できる方。日常会話レベルの英語を身につけている方。

講師紹介

Hello. My name is David Flenner. I'm from the UK and I have been living and teaching in Hokkaido for many years. I enjoy the outdoor activities of Hokkaido both in winter and in summer although most of my time recently has been occupied by my very active young daughter! I look forward to working with students to improve communication skills in English.

COMMUNITY COLLEGE

2018年度 英会話講座日程

(全24回)

曜日	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	9/13
E1 (木)	5/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6
	入門英会話 13:30~15:30 担当講師/Tim Grose											
E2 (水)	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	9/12
	9/19	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5
基礎英会話(海外旅行) 13:30~15:30 担当講師/Brendon Muir												
E3 (金)	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	9/14
	9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/30	12/7	12/14
基礎英会話(日常生活) 13:30~15:30 担当講師/Koch Junior, J. C.												
E4 (火)	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	9/11
	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4
中級英会話(日常生活) 13:30~15:30 担当講師/Robert Olson												
E5 (土)	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	9/15
	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15
中上級英会話(グローバルトピック) 13:30~15:30 担当講師/David Flenner												



お申し込みから受講までの流れ

①【申込期間】



4月4日(水)～4月17日(火)必着

※応募者多数の場合は、抽選となります。
 ※受講希望者が開講予定人数に満たない場合は、開講しないことがあります。

②【申込方法】



申込は、①インターネット ②FAX ③ハガキでのいずれかになります。※電話による申込はできません。

- ①インターネットの場合 …… http://www.sgu.ac.jp/rcc
- ②FAXの場合 …… FAX番号:011-386-8113
- ③ハガキの場合 …… あて先:〒069-8555 江別市文京台11番地
札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」係

③【結果通知】



4月25日(水)以降に申込者全員に封書で通知いたします。

※受講いただける方には、「受講確定通知書」と「受講料の振込み用紙」をお送りいたします。
 ※応募者多数の場合の抽選結果(受講できない場合)は、封書でお知らせいたします。
 (抽選では、はじめての方を優先する場合がありますので、ご承知下さい。)
 ※受講者が予定人数に満たず、開講できない場合は、講座中止のお知らせをお送りいたします。
 ※4月27日(金)までに受講に関する通知が届かない場合は、お問い合わせ下さい。

④【受講料の支払方法・受講確定】



受講料は、「受講確定通知書」に記載された金額をゆうちょ銀行または北洋銀行の口座にお振込みください。受講料の振込みによって正式に受講確定とさせていただきます。振込みが確認できない場合は受講できませんので、指定された期日までに必ずお振込みください。振込みの控えは、講座が終了するまで大切に保管してください。

⑤【開講日・受講上の注意】

「受講確定通知書」に、講座の開始日が記載されています。講座開始日に札幌学院大学1号館2階社会連携センター受付にお越しください。
 受講料をお振込みいただいた方には、あらためて開講日のご案内はいたしませんのでご承知願います。
 各講座の全日程は、パンフレットあるいは本学社会連携センターのホームページにてご覧下さい。
 ※お子様連れでの受講はご遠慮ください。
 ※駐車場利用希望者は別途手続きが必要です。ご希望の方には、「受講確定通知書」とともに「駐車許可申請書」をお送りいたします。ご記入の上、講座初日に社会連携センター受付へご提出ください。
 ※6/30(土)は大学祭のため、駐車場の利用はできません。
 ○開講場所:江別市文京台11番地 札幌学院大学 1号館
 ○講座当日は、札幌学院大学 1号館2階 社会連携センターにて受付を行います。

【キャンセルに関して】

原則としてキャンセルはできません。ただし、やむを得ない事情によりキャンセルを希望する場合は、「受講確定通知書」に記載された受講料支払期限までに必ずご連絡下さい。【TEL:(代表)011-386-8111 コミュニティカレッジ係】
 お支払いいただいた受講料は、返金できかねますのでご了承下さい。

お申し込み前に必ずお読み下さい。 ●受付時間/9時～17時(月～金)

- 札幌学院大学「コミュニティ・カレッジ」は、高校生以上であればどなたでも受講できます。
- 申込者以外の方は受講できません。
- 本学「コミュニティ・カレッジ」の講座は、「道民カレッジ」及び「えべつ市民カレッジ」と連携しております。
- 受講生は自動的に「コミュニティ・カレッジ」の会員として登録されます。
- 英会話については、前年度からの継続受講者が多いクラスもあります。
- 都合により担当講師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 札幌学院大学図書館の利用(閲覧・貸出)ができます。
- 札幌学院大学(その前身の札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌商科大学を含む)の同窓生ご本人と、在学生のご両親の方々には、受講料特別割引制度があります(ただし、教材費、バス代などは除きます)。その旨、お申し込み時に明示してください。お申し込み時に明示なき場合は、割引制度をご利用いただけません。[外国語講座と資格対策関係講座は2割引、それ以外の講座は5割引で受講できます。]
- ご提供いただきました個人情報は、今後の講座や札幌学院大学のイベント等をご案内する目的以外には使用いたしません。

お申し込み方法

1. ハガキ・FAXによるお申し込みは、◎に示す項目を記載のうえ、下記あて先にお送りください。

宛先 [ハガキ] 〒069-8555 江別市文京台11番地
 札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」係
 [FAX] FAX番号 011-386-8113

◎ハガキ・FAX用紙に記載する事項は下記の全ての項目です。なお、記入漏れなどがあると受付処理等が出来ませんのでご注意ください。お間違のないようご記入願います。
 ※第2・第3希望のお申し込みは受付けておりません。
 ※駐車場利用を希望される方は、必ずご記入願います。

〈はがき用切り取り線〉

講座番号	講座名 (※複数記入可)	
フリガナ		
氏名		
〒	-	電話番号 ()
住所		
年齢	歳	職業
駐車場利用希望	する ・ しない	
コミュニティ・カレッジを受講したことがありますか	はい or いいえ	
同窓生本人	卒業年()年()学部	旧姓()
在学生の両親	在学生氏名 ()学部 年	
コミュニティ・カレッジ講座を何で知りましたか？(○をつけてください)		
①本学の案内 ②区役所、区民センター ③図書館 ④新聞折込チラシ		
⑤道民カレッジ ⑥友人・知人 ⑦インターネット広告		
⑧その他()		

2. ホームページから申し込む場合はこちらからお申し込み下さい <http://www.sgu.ac.jp/rcc/>

心理臨床センター相談室のご案内

皆さまからのご相談をお待ちしております。また、ご本人だけではなく、ご家族や周りの方、学校の先生方もお気軽にご相談ください。

相談の例

- 学校に行けない・行かない
- ひきこもり
- 反抗・暴力など
- 友人関係や職場での人間関係
- 子どもとの接し方

詳細はお電話でお問い合わせいただくか、本学心理臨床センターHP(<http://www.sgu.ac.jp/cpc/>)をご覧ください。

■心理臨床センターのお問い合わせ先

札幌学院大学 心理臨床センターまで
TEL 011-386-9794
(直通・月～土曜日 10:00～16:00)

オープンキャンパスでSGUを体験してみよう!

進学を考えている高校生・保護者・高校教員の方々に対象に、オープンキャンパスを開催致します。

学科説明会や授業体験を通して教育内容を知り、充実した施設設備を見学して学生生活をイメージして下さい。その他にも保護者ガイダンスや入試対策講座などの、多彩なプログラムも用意されています。

日時: 2018年 6月16日(土)
2018年 7月22日(日)
2018年 9月23日(日)
2019年 3月17日(日)

受付: 札幌学院大学 G館 1階

詳細は本学ホームページでご確認下さい。

■オープンキャンパスのお問い合わせ先

札幌学院大学 広報入試課まで
(TEL 011-386-8111 (代))
入試フリーダイヤル 0120-816-555

その他、編入学試験制度、社会人入学試験制度、科目等履修生制度、聴講生制度、研究生制度等があります。詳細についてはお問合わせください。

〒069-8555 江別市文京台11番地 TEL:011-386-8111(代) <http://www.sgu.ac.jp>

札幌学院大学大学院(修士課程)のご案内

<h3>地域社会マネジメント研究科</h3>	<p>夜間・土曜授業、札幌都心の大通サテライト教室などの働きながら学べる環境を有し、地域社会の諸課題を研究対象とし、地域・まちづくり系分野、地域・経営・経済分野及び地域会計分野等のそれぞれの分野でスペシャリストとして活躍し得る人材養成を目的としています。CFP[®] 受験資格を得ることも可能です。</p>
<h3>法 学 研 究 科</h3>	<p>法学を中心に隣接諸科学の研究成果を総合して、鋭い人権感覚と豊かな国際感覚を備えた、地域社会に貢献できる人材及び高度な専門知識と能力を備えた専門的職業人を養成することを目的としています。税理士資格とCFP[®] 受験資格の取得もサポートしています。</p>
<h3>臨 床 心 理 学 研 究 科</h3>	<p>臨床心理学を中心に心理臨床に関連する諸分野との連携を得ながら、様々な心の問題を心理臨床の視点から取り上げ、公認心理師及び臨床心理士という専門的職業人を養成することを目的としています。道内初の臨床心理士資格認定協会一種認定校としての実績を有しています。</p>

大学院のお問合せ先:札幌学院大学 教育支援課 TEL 011-386-8111(代)

URL=<http://www.sgu.ac.jp/gra/ga/>

●コミュニティ・カレッジのお問い合わせ先●

札幌学院大学社会連携センター

ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/rec>

TEL 011-386-8111(代表)

FAX 011-386-8113

受付時間/9:00～17:00(月～金)